

PaletteForWin

取扱説明書

©Logic Pack

<はじめに>

この度、**Palette for Windows** をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
このコントロールソフトは弊社製 **Palette** シリーズをご使用する場合に、**Windows** 環境でお使いいただくことが出来るようになります。

<使用環境>

○接続対象機器

Palette11, 22, 33 のいずれか

○システム要件

対象の **Palette For Windows** 最新の **WEB** サイトを参照ください。

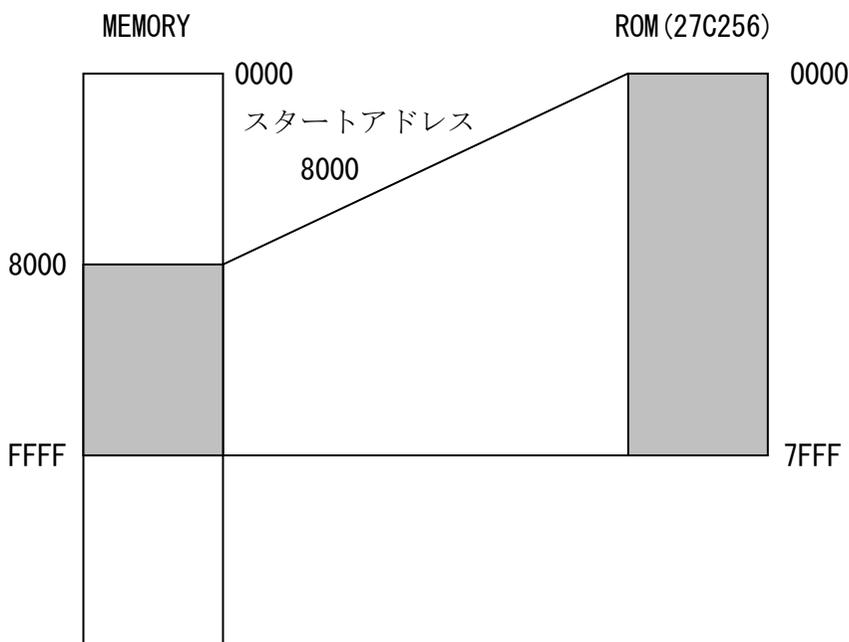
<使用上の注意>

このコントロールソフトは弊社製の **Palette11, 22, 33** の **3** 機種でご使用できます。
Palette44 にはご使用できませんのでご注意ください。

ボーレートと接続 **Palette** の判別はプログラム実行時に自動的に判別します。その場合、**COM** ポートが違う場合は、認識できませんので、エラー表示後に [オプション] の通信確認で **COM** ポートを変更してください。一度変更すれば、次回からは変更の必要はありません。

本説明書は Palette22, 33 との接続を行った場合で記述してあります。Palette11 と接続してある場合は以下の機能が利用できません。

1. [デバイス] – [イレース] EEPROM と FLASH は Palette11 では使用できません。
2. デバイスの書き込み、読み込みおよびプログラム時のモード設定とバッファ設定の一部モードは ODD, EVEN を選んでも必ず ALL として判断されます。また、バッファスタートアドレスの設定はスタートアドレスがバッファ内の 0 番地として書き込みが行われ、エンドアドレスは無視します。



3. バッファタイプの設定 利用できません。

<Palette11 でご使用になる場合の仕様変更>

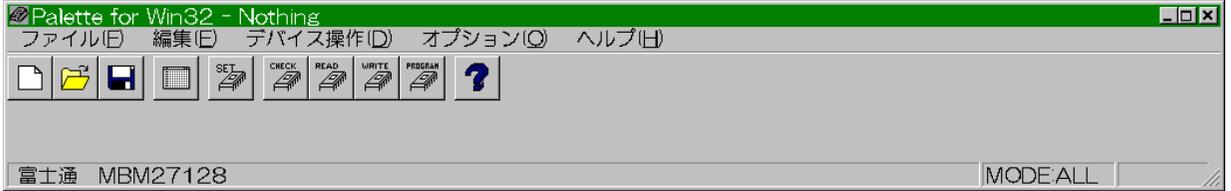
本ソフトは Palette11 でご使用できますが、元々の Palette11 の仕様と多少異なります。

1. Palette11 のみでは出来なかった、データの追加や作成などバッファ編集機能の追加
2. 使用できるフォーマットの増加

以上 2 点が大きな特徴です。ただし、通信速度や書き込み時間、対応デバイスなどは変わりません。また、連続コンペア、エミュレータ機能は使用できません。

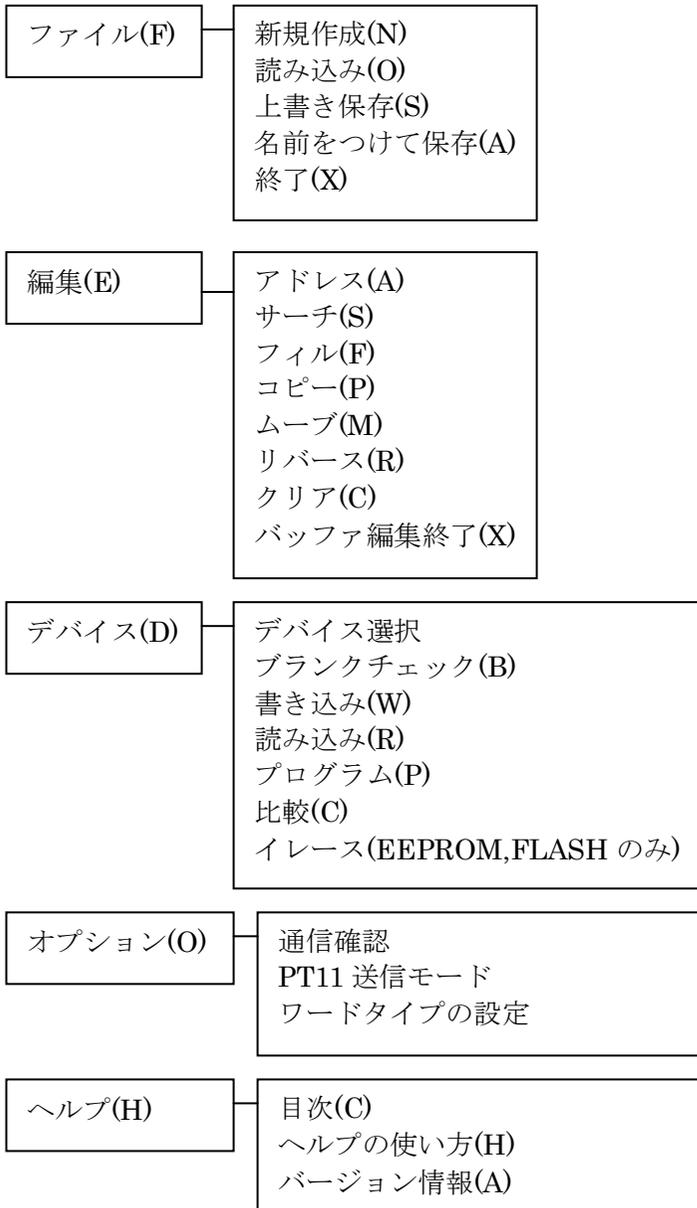
□ 操作方法

「Palette for Win」 起動時には以下の画面が表示します。

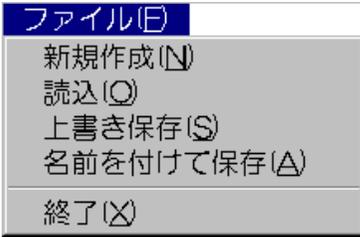


<メニューバー>

メニューは以下の構成になっています。必要に応じた機能を選択してください。



□ コマンドの説明



[ファイル(F) | 新規作成(N)]コマンド
ファイルを新しく作成します。タイトルバーには
”Palette for Win-(NOTHING)”と表示されます。



[ファイル(F) | 読込(O)]コマンド
ファイルをオープンします。タイトルバーには
”Palette for Win-(ファイル名)”と表示されます。

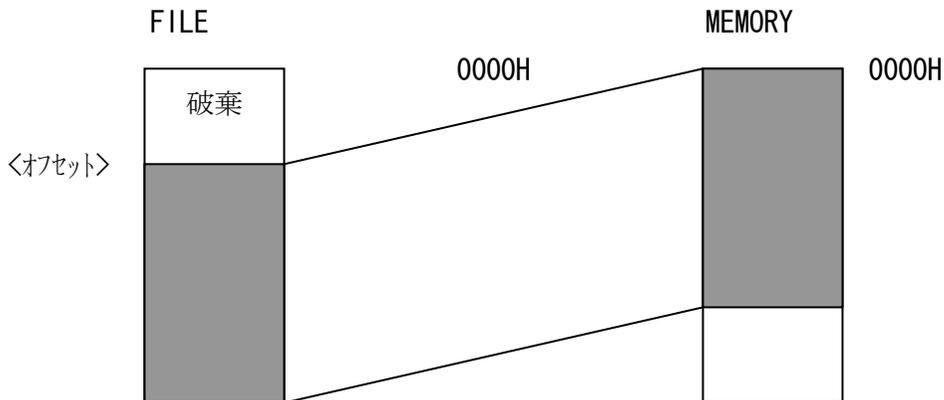
ファイルを指定した後、次のウィンドウが表示されます。



読み込むファイルがどのフォーマット形式か、オフセット、バッファスタートアドレスを指定した後、了解をクリックします。

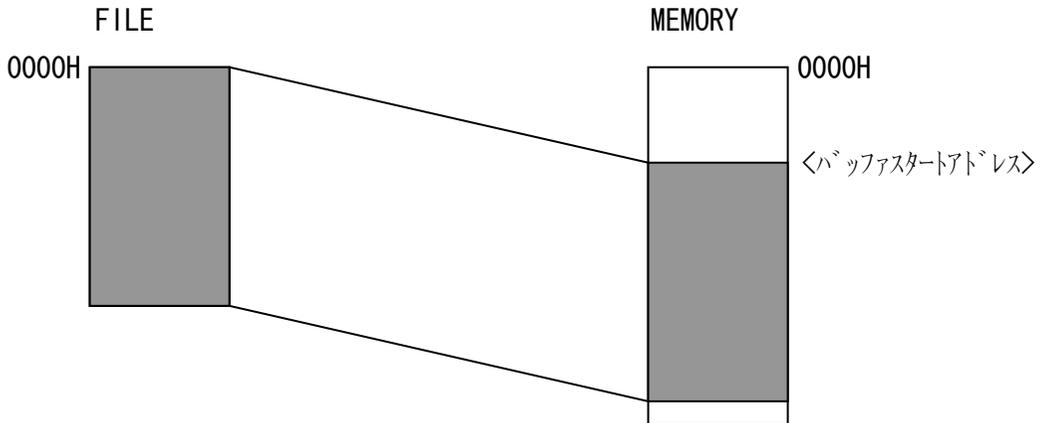
○オフセットアドレス

バイナリーフォーマット以外のフォーマット形式にはアドレス情報も含んでいます。このアドレスを利用して、指定したアドレスからデータを読み込む場合にオフセットアドレスを指定します。バイナリーの場合は、最初をアドレス 0H として扱います。



○バッファスタートアドレス

データをどのアドレスに入れるかを指定します。

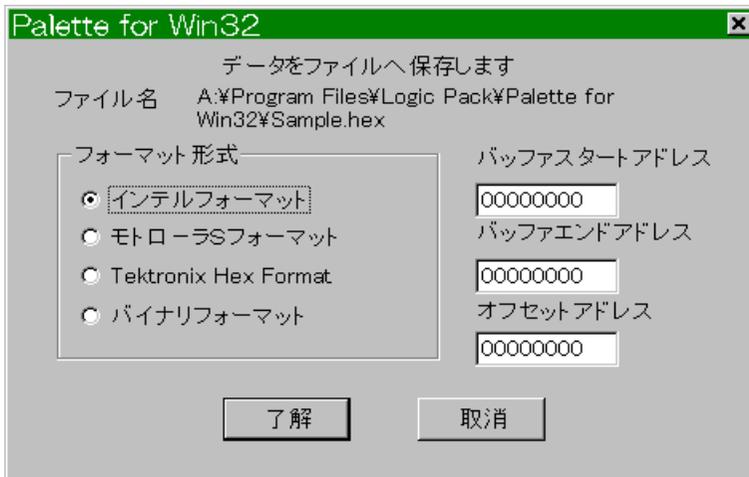


[ファイル(F) | 上書き保存(S)]コマンド

バッファにあるデータをファイルに保存します。新規作成の場合は、名前をつけて保存と同じ内容になります。

[ファイル(F) | 名前をつけて保存(A)]コマンド

新しいファイルの名前と保存場所を指定した後、以下のウィンドウが開きます。



ここで、フォーマット形式とバッファスタートアドレス、バッファエンドアドレス、オフセットを指定します。指定後、了解を押してください。

[ファイル(F) | 終了(X)]

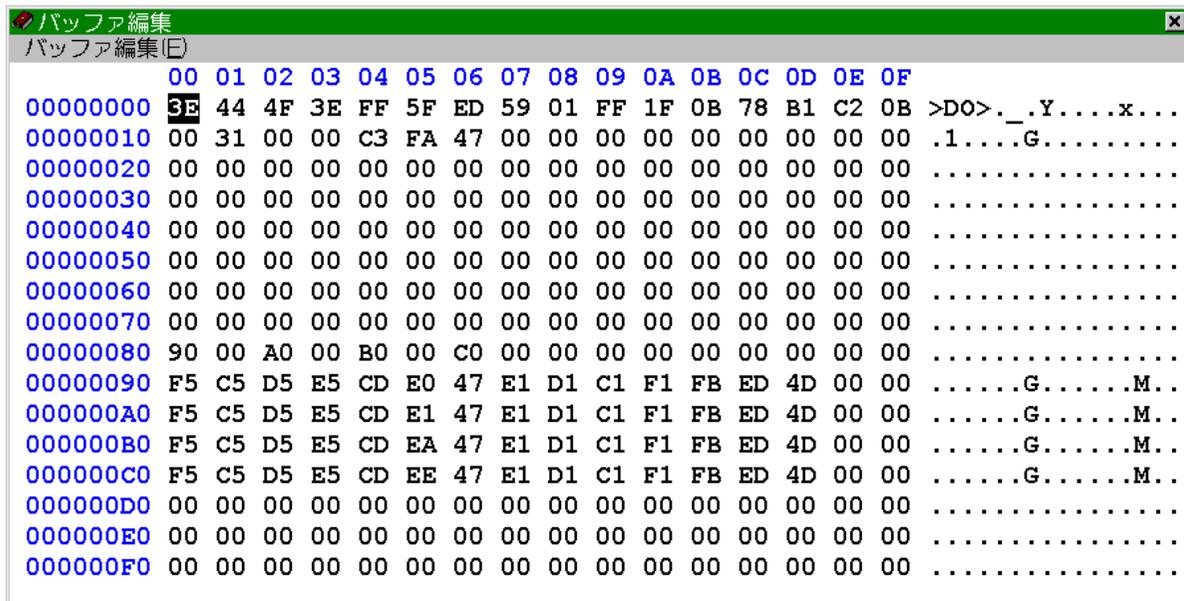
本コントロールソフトを終了します。

○編集



[編集(E)] コマンド

このコマンドを実行すると次のような画面が表示されます。



このウィンドウでバッファの内容を修正したり、調べたりすることが出来ます。

- ・ バッファ編集ウィンドウでのキー操作

矢印キー (カーソルキー)	点滅しているカーソルを上下左右1つずつ移動します。
[ROLL DOWN] (PAGE UP)	現在の左上のアドレスを 100H 分低いアドレスに移動します。
[ROLL UP] (PAGE DOWN)	現在の左上のアドレスを 100H 分高いアドレスに移動します。

バッファ編集(E)

アドレス(A)
サーチ(S)
フィル(F)
コピー(P)
ムーブ(M)
リバース(R)
クリア(C)

バッファ編集終了(X)

[バッファ編集(E) | アドレス(A)]コマンド

指定したアドレスに移動

[バッファ編集(E) | サーチ(S)]コマンド

指定した範囲内のデータを検索しそのアドレスに移動

[バッファ編集(E) | フィル(F)]コマンド

指定した範囲内を任意のデータで埋め尽くす

[バッファ編集(E) | コピー(P)]コマンド

指定した範囲を指定場所にコピー

[バッファ編集(E) | ムーブ(M)]コマンド

指定した範囲を指定場所に移動、元の部分は”FF”になる

[バッファ編集(E) | リバース(R)]コマンド

指定した範囲内のデータをビット反転

○ デバイス

デバイス操作(D)

デバイス選択(S)

ブランクチェック(B)

書き込み(W)

読み込み(R)

プログラム(P)

比較(C)

イレース(EEPROM, FLASHのみ)(E)

[デバイス(D) | デバイス選択]コマンド



デバイスの設定

デバイスメーカー	大きさ	型番
AMD	4KByte(32kbit)	MBM27256
富士通	8KByte(64kbit)	MBM27C256A
日立	16KByte(128kbit)	MBM27C256F
インテル	32KByte(256kbit)	MBM27C256
Macronix	64KByte(512kbit)	

設定 取消

ROM を選択します。このコマンドを実行すると次のようなウィンドウが表示されます。デバイスのメーカーをクリックすると、大きさ、型番が表示されます。それぞれ選択し設定ボタンを押して、決定します。



[デバイス (D) | ブランクチェック (B)] コマンド

デバイスの内容が消去しているか調べます。ブランクチェックでエラーになる場合は再度イレース (データ消去) する必要があります。

※注意

デバイスがすでに壊れている場合でもブランクチェックが **OK** になってしまうことがあります。ブランクチェック **OK** のデバイスでも書き込みできない場合はデバイスを新品と交換する必要があります。



[デバイス (D) | 読み込み (R)] コマンド

デバイスの内容をバッファに読み込みます。読み込み後チェックサムが表示されますので、正常に読み込んだかのチェックに便利です。

※注意

バッファの内容に直接上書きされます。よって、すでに何らかのデータがバッファ内にある場合は、必要に応じてファイルに保存する必要があります。



[デバイス (D) | 書き込み (W)] コマンド

バッファの内容をデバイスに書き込みます。

※注意

書き込む場合は現在選択しているデバイスが本当に一致していることを確認してください。間違ったデバイスを選択している場合 (特に容量が違う場合) に書き込みを行うとデバイスを破壊してしまいます。



[デバイス (D) | プログラム (P)] コマンド

ブランクチェックと書き込み、ベリファイをまとめて行います。

※注意

Palette11 のみブランクチェックと書き込みのみ

[デバイス (D) | 比較 (C)] コマンド

バッファの内容とデバイスの内容を比較します。違う場合はそのアドレスを表示します。

[デバイス (D) | イレース (P)] コマンド

EEPROM や **FLASH** などをイレース (内容を消去) します。

※注意

Palette11 にはこの機能は在りません。

・ 範囲の設定

書き込み

デバイス
デバイススタートアドレス
デバイスエンドアドレス

バッファ
バッファスタートアドレス

モード
 ALL ODD EVEN

了解 取消

書き込みや読み込み、比較、プログラムを選択すると範囲を問い合わせてきます。必要の部分を変更後、了解を押してください。

デバイスの範囲と、バッファの範囲、モードを指定します。

※注意

Palette11 は 0～1FFFFH まで、
Palette22 は 0～7FFFFH まで、
Palette33 は 0～1FFFFFFH までです。

尚、モードは Palette11 には対応していません。

・デバイスモードの説明

この機能はワードのデータを2つのバイトROMに書き込みたい場合などに便利です。

EVEN :バッファの偶数アドレスのみを対象としてデバイス操作を行います。

ODD :バッファの奇数アドレスのみを対象とします。

ALL :全アドレスを対象にします。(初期状態)

例を以下に示します。ここではバッファの内容をバイトROMとワードROMの0H~7Hに書き込みを行います。

MEMORY		BYTE ROM					
アドレス	データ	ALL MODE		ODD MODE		EVEN MODE	
アドレス	データ	アドレス	データ	アドレス	データ	アドレス	データ
	00	0H	00	0H	01	0H	00
+1	01	1H	01	1H	03	1H	02
+2	02	2H	02	2H	05	2H	04
+3	03	3H	03	3H	07	3H	06
+4	04	4H	04	4H	09	4H	08
+5	05	5H	05	5H	0B	5H	0A
+6	06	6H	06	6H	0D	6H	0C
+7	07	7H	07	7H	0F	7H	0E
+8	08						
+9	09						
+A	0A						
+B	0B						
+C	0C						
+D	0D						
+E	0E						
+F	0F						
.	.						
.	.						
.	.						
.	.						
+1C	1C						
+1D	1D						
+1E	1E						
+1F	1F						

WORD ROM (BUFFER TYPE EVEN LOW)					
ALL MODE		ODD MODE		EVEN MODE	
アドレス	データ	アドレス	データ	アドレス	データ
0H	0100	0H	0302	0H	0100
1H	0302	1H	0706	1H	0504
2H	0504	2H	0B0A	2H	0908
3H	0706	3H	0F0E	3H	0D0C
4H	0908	4H	.	4H	.
5H	0B0A	5H	.	5H	.
6H	0D0C	6H	.	6H	.
7H	0F0E	7H	1F1E	7H	1D1C

○オプション

ここでは、通信が出来ていないときに COM ポートの設定やワード ROM を選択しているときにバッファタイプの設定を行います。選択すると次のようなウィンドウが表示されます。



◎Palette11 をご使用の場合は PT11 送信モードで送信する形式を変えることが出来ます

通常モード：通常の送受信を行います。

高速モード：PT11 マニュアルに記載の V コマンドと同様のフォーマットで送受信します。

この場合、通常の約 6 割で行えます。

Palette22, 33 では、使用しません。

◎ワード ROM 使用時には”ワードタイプの設定”の部分が選択可能になります。

EVENLOW：偶数番地の内容を下位アドレスにする

EVENHIGH：偶数番地の内容を上位アドレスにするデータの上下位を逆転する場合に使用します。



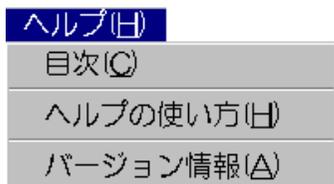
通信確認は通信が出来ていない場合のみ選択可能になります。ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。

Palette 本体が接続されているシリアルポートを指定してください。指定後、「了解」をクリックすることで、通信できるかどうかをチェックします。

※注意

この時、Palette 本体の電源も投入しておいてください。

○ヘルプ



[ヘルプ(H) | 目次(C)]コマンド
ヘルプファイルの目次を表示します。

[ヘルプ(H) | ヘルプの使い方(H)]コマンド
Windows ヘルプの使い方が表示されます。

[ヘルプ(H) | バージョン情報(A)]コマンド
プログラムと本体、接続 Palette、通信ポートの情報を表示します。

<製品のサポートと保証について>

○製品ファームウェアのバージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップは以下の場合を除いて無償で行っております。ただし、弊社からお客様への直接のバージョンアップ通知は行っておりません、弊社 **Web** サイトを参考にいただき、お客様から連絡をいただいた場合に対応させていただきます。また、その際に生じる弊社までの運送費・運送保険料はお客様側でご負担をお願いします。弊社からお客様までの運送費・運送保険料は弊社にて負担致します。

※ ファームウェアの無償バージョンアップ対応外になるのは次の通りです。

- ・ソフト、ハードウェアを無断で修正・加工あるいは変更を加えた場合

○コントロールソフト・取扱説明書のバージョンアップ

コントロールソフトと取扱説明書についても、上記ファームウェア同様に弊社からお客様への直接のバージョンアップ通知は行っておりません。最新のコントロールソフトと取扱説明書は弊社 **Web** サイトより無償でダウンロードができます。最新バージョンをダウンロード後は、古いバージョンのものは必ず破棄をしてください。

Web サイトでのダウンロード以外で、弊社よりコントロールソフト **CD-ROM** もしくは、取扱説明書の冊子の新規発行が必要な場合は、有償での提供となりますので、製品購入代理店もしくは弊社までお問い合わせ・見積依頼してください。

「 PaletteForWin 」

取扱説明書

初版作成 1997. 10. 21

第 5 版作成 2013. 02. 06

発行 (株)ロジパック

〒438-0078 静岡県磐田市中泉 1803-1

<http://logicpack.co.jp>

Email : support@logicpack.co.jp